



創造・感謝・勤労

飛 幡 中

2020年度

北九州市立飛幡中学校 学校通信

令和2年 7月15日 No. 5

発行責任者 校長 池 浩幸

学校所在地 戸畑区小芝一丁目8番20号

TEL 093-882-3652 FAX 882-3618

【 3年生修学旅行、日帰りで実施予定！ 】

本来なら5月末に実施だった3年生の修学旅行でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、延期または中止の案で市教育委員会としても時間を費やしてきた検討課題でした。

今回、ようやく市全体としての方向性が示されました。あわせて市中学校長会と修学旅行検討委員会の度重なる会議を受けて、飛幡中学校では **11月6日(金)** に1日の日帰りによる修学旅行を実施することとなりました。

行き先やなどの詳細につきましては、今後、業者と打ち合わせをしてなるべく早い段階で皆様にお知らせする予定です。

また、これも「今のところ」の案であり、今秋以降の新たな感染症の影響により変更になる可能性も多々あることをお知りおきください。学校としても、子どもたちにとって一生に一度の修学旅行を、どんな形であれ、何とか実施したいと職員一同願ってきました。生徒の安全を最優先に、その他総合的に考慮した結果、宿泊を伴わない、日帰りの修学旅行と決定しました。

保護者の皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。

【 飛幡サミット実施される！ 】

先日の13日(月)に飛幡サミットが開催されました。年に一度の生徒会主催の行事です。他の学校ではほとんどがいわゆる「生徒総会」を実施していますが、本校では、代表者による議会形式で行われています。学級の代表者と生徒会執行部が討論をし、より良い飛幡中学校づくりを目指します。

各学級からの要望事項は様々ですが、中には「なるほど」と考えさせられるものもありました。学校にはできることとできないことがあります、少しでもできることは皆さんの要望に近づけたい、その思いは職員も同じです。特に今年はコロナ感染防止の影響で、これまで以上に皆が頑張っています。時間はかかっても、できることを一步一步確実にやり遂げ、お互いにとって居心地の良い、活気に満ちた飛幡中学校を作っていきます。

生徒会執行部、議長さん、そして学級代表者の皆さん、暑い中、本当にお疲れ様でした。

令和2年7月13日

3年生保護者の皆様

北九州市立飛幡中学校

校長 池 浩幸

令和2年度修学旅行について

梅雨の候、保護者の皆様にはご健勝のことと存じます。また、日頃からの新型コロナウイルス感染拡大防止についてのご理解とご協力を心より感謝申し上げます。

さて、令和2年度修学旅行について、北九州市教育委員会より下記の連絡がありました。

中学校の修学旅行は、以下の通り実施する。

- ・当初予定していた関西方面では実施しない
- ・各学校の教育課程の進行状況等に応じて、1日または2日間で実施
- ・旅行先は、市内、県内、近隣県

そこで、市中学校長会及び修学旅行検討委員会の会議を経て、本校の修学旅行については、新型コロナウイルスに関する生徒の生命及び健康、安全第一の観点からと、高校入試に向けた教育課程の確保を最重視し、下記のように実施いたします。

○実施方法 日帰り

○日時・行先 11月上旬、見学場所等の詳細については後日連絡します。

何卒、ご理解とご協力をお願いします。

流れに逆らわず

昨日まで世界の常識だった価値観や秩序が、一日にして変わる。ありえないようなことが実際に起こるのが世の不思議である。安全や健康に対する意識も例外ではない。

歴史を紐解けば分かる。天動説の世に地動説が唱えられた時の人々の驚き。フランス革命や明治維新といった数々の動乱も同様で、一つの発見や革命や伝染病で社会が変わる現象は極めて多いのである。

何の因果でこんな影響を受けるのやら。天を恨みたい気持ちにもなる。しかし、それは今を生きる我々だけの不満ではない。これは人類史上数千年、かつて何千億の人が経験した不条理の一つ。所詮、腹をくぐるしかないのである。

ただ古い秩序が失われたならば、代わりの何かが誕生している。一方で、いったん廃されても必要と分かれば復活されるものもある。

大切なのは柔軟さ、断絶の中に垣間見える流れに逆らわないことではないだろうか。その心がけがあれば一時の不自由を被っても希望は必ず見えてこよう。

(PHPより)